

下腿義足吸着式ソケット使用報告

小林 勝美

[川村義肢 株式会社]

シリコンライナーを用いた下腿義足の懸垂ではキャッチピンによる懸垂が主流である。しかしこの懸垂方法には座位や、つま先離れ時の断端末軟部組織の引っ張りによる不快感がある、脛骨々端が軟部組織に覆われていないような特殊断端のためにキャッチピンの向きを考慮したシリコンライナーの装着が困難である、屈曲拘縮があるためアライメントがとれない、長断端のため構造的な高さが足りない、などの問題が生じる場合がある。これらの問題解決と更なる適合を得るためオズール社のサクシヨンバルブと懸垂スリーブを使用した吸着式ソケットでこれらを実現することができたので症例結果と考察を報告する。